



ライプチヒ・ハレ空港と「戦略的空港提携の構築に関する覚書」を締結

2014 年 3 月 24 日、関西空港とライプチヒ空港は、戦略的空港提携の構築に関する覚書を締結しました。

ライプチヒ・ハレ空港はヨーロッパ域内の貨物ハブ空港の 1 つとして、DHL とエアロロジック(DHL エキスプレスとルフトハンザカーゴのジョイントベンチャー)が拠点を置いており、また、両空港は太陽光発電等の環境施策に積極的に取り組む環境先進空港という共通点を有しています。

これまでのバンクーバー空港、ゴールドコースト空港は主に旅客を対象とした提携でしたが、本日のライプチヒ・ハレ空港との提携は関西空港として初めて、貨物と環境を主眼とした取組みとなります。

両空港は姉妹提携という枠を超え、戦略的に提携することで、関西空港と欧州間の貨物ネットワークの強化を図るとともに、空港運営における環境保全等、環境面においても協力体制を構築し、共有する空港戦略に一層の磨きをかけ、事業価値向上を目指してまいります。

【ライプチヒ・ハレ空港概要】

- ① 位 置: ドイツ東部ザクセン州ライプチヒ中心部から約 20km
- ② 管 理 者: Mitteldeutsche Airport Holding
- ③ 開 港: 1927 年
- ④ 滑 走 路: 3,600m × 2 本
- ⑤ 旅 客 数: 約 400 万人(2013 年)※ドレスデン空港含む
- ⑥ 発着回数: 約 9 万回(2013 年)※ドレスデン空港含む
- ⑦ 貨物取扱量: 約 89 万トン(2013 年)※ドレスデン空港含む

貨物取扱量はドイツ国内でフランクフルトに次いで 2 番目、ヨーロッパ域内で 5 番目。

(ヨーロッパ域内の貨物取扱空港順位: ①パリ、②フランクフルト、③ロンドン、④アムステルダム)



KIX20th ITM75th

プレスリリース

Leipzig/Halle Airport
Dresden International
PortGround

2014年3月24日

ライプチヒ・ハレ空港は初の戦略的 パートナーを日本に獲得

ライプチヒ・ハレ空港は今後、日本の関西国際空港と提携を行います。そのために、中部ドイツ空港株式会社と新関西国際空港株式会社の間で戦略的パートナーシップのための協定、今日大阪で締結されました。関西空港とのパートナーシップは、ライプチヒ・ハレ空港にとって日本初の、アジアの空港では3番目の提携関係になります。2010年には中国の深圳宝安国際空港と、2012年夏には、上海浦東国際空港と提携関係が結ばれています。

中部ドイツ空港株式会社
ウヴェ・シュエルト
広報部長
Telefon +49 (0)341 224-1157
Telefax +49 (0)341 224-1161
Uwe.Schuhart@mdf-ag.com
www.mdf-ag.com

ライプチヒ・ハレ空港と関西空港は現時点ですでに、ドイツと日本でそれぞれ、第2番目の規模を誇る空港です。パートナーシップの目的は、国際貨物における地位の強化です。中部ドイツ空港株式会社のマルクス・コップ代表取締役いわく、「そのために、付加価値・輸送チェーン全体にわたって、共同のマーケティングと販売活動が予定されています。」戦略的パートナーシップの内容は、情報交換の充実化と社員の相互訪問に加え、顧客開拓と環境マネジメントにおける協力です。コップ会長は、ライプチヒ・ハレ空港が、同地方の重要な雇用主であるだけでなく、ヨーロッパの物流経済にとって、品質、効率、パフォーマンスの見本として、国際的評価を高めていることを強調しました。

ザクセン州スタニスラフ・ティリッヒ首相は、中部ドイツにおける物流立地の中核としてのライプチヒ・ハレ空港の役割を評価しました。「EU拡大により、ザクセンはその地理的条件から、ヨーロッパ中心部に位置する、第一級のハブとなりました。」とティリッヒ首相は述べています。昨年、計88万8千トンの貨物が、ライプチヒ・ハレ空港を通して、取り扱われました。

関西国際空港について

日本の関西国際空港は、大阪湾泉州沖5キロに位置した全てが埋め立てられた人工島であり、4000M級の滑走路を2本保有した日本初の完全24時間運用可能な国際空港です。関西空港はこのため、アジア太平洋圏の貨物ハブ空港として重要な輸送空港とみなされています。2013年には関西国際空港にて、70万トンの貨物が取り扱われました。

ライプチヒ・ハレ空港について

ライプチヒ・ハレ空港は、貨物便の24時間運行許可と、ヨーロッパ縦断アウトバーン及び鉄道網への直接の接続を誇ります。着離陸滑走路システムは、2本の並行した、長さ各3,600メートルの滑走路から成り、それらは、カテゴリーIIIB下でも、各々独立して使用することができます。加えて、空港内には近代的な大型動物発送手続ターミナルである動物輸出センターや国境検疫所が設置されています。2008年、ディー・エイチ・エル（DHL）はここに、ヨーロッパの航空貨物ハブを開設しました。ライプチヒ・ハレ空港はまた、2009年以来、DHLエクスプレスとルフトハンザカーゴのジョイントベンチャーであるエアロロジック社の拠点でもあります。現在、ライプチヒ・ハレ空港からは30カ国以上、60の目的地に貨物便が就航しています。

中部ドイツ空港グループは、公共企業である中部ドイツ空港株式会社のアンブレラブランドです。同グループには、ライプチヒ・ハレ空港、ドレーズデン国際空港、ポートランドといった子会社が所属しています。

2013年、同グループは発着数9万647回、旅客数約400万人、取扱貨物量88万7,281トンという実績を出しています。2013年のグループの直属社員数は1,047人でした。中部ドイツ空港株式会社の各所在地を合わせると2013年、総計9,478人が各企業や関連官署に従事していました。

2012年、ライプチヒ・ハレ空港を代表する中部ドイツ空港グループは、上海浦東国際空港を代表する上海機場有限公司と提携関係を締結しました。同協定は、航空輸送便の新展開及び増便、共同の市場・顧客開拓、そして、情報と人員の交換を含むものです。

中部ドイツ空港グループと深圳空港グループとの間の提携関係が始まったのは、早くも2010年10月です。やはり、市場と顧客の開拓における協力や定期的な情報と人員の交換について、合意がなされています。

ライプチヒ・ハレ空港は2013年、メンフィス国際空港及びシンシナティ・ノーザンケンタッキー国際空港と、国際航空輸送市場における密な協力を目的とした協定を締結しました。